



2024年1～3月期のインバウンド



日本政府観光局（JNTO）は訪日客数を以下のように発表しています。

2024年1月 (2月21日発表)	268万8100人 ・コロナ前の2019年1月とほぼ同水準。 さらに能登半島地震の発生で中国・台湾などから旅行キャンセルが相次ぐ中で！
2024年2月 (3月19日時点)	278万8000人 ・2月としては過去最高
2024年3月 (4月17日発表)	308万1600人 ・統計を取り始めた1964年以降、初の300万人超え。 ・2019年3月を11.6%上回る。

観光庁が4月17日に発表した24年1～3月期の旅行消費額（速報値）は1兆7505億円で、四半期ベースで過去最高となりました。円安や物価上昇などの影響で伸びたとされます。1人当たりの旅行支出は19年同期比41.6%増の20万8760円です。

解説では、重要なのは「旅行客数より使ったお金」、インバウンド消費額を増やすためには、いたずらに観光客数を追わず、「観光の付加価値向上を目指す戦略が欠かせません」とされています。

**1月～3月までの職場労働者の働き度は過去最高!!
申36号・37号で求める夏期手当“補給”は必要だ!!**